

兵高教組

確定速報 8号

2014年1月27日 調査情報40号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

13確定 越年交渉 三つの課題

1. 県「行革」による賃金カットをやめさせる
2. 介助員の不当解雇を許さない
3. 55歳昇給停止を撤回させる

13確定交渉で越年した課題は以下の三点です。

行革による賃金カットをやめること

2008年4月から5年間として始まった賃金独自カットが、今年で6年目を迎えています。この間にカットされた賃金はいったいどこに使われたのでしょうか？少なくとも教育予算にはまわっていません。学校の教育予算の削減も限界に達しています。この県「行革」を終了させることです。

介助員の不当解雇をするな

県「行革」によるスクールバスの民間委託により、介助員が解雇されようとしています。断じて介助員の解雇は許されません。

55歳昇給停止の撤回を求める

県独自の賃金カットが続いている中で、55歳昇給停止は論外です。

賃金カットをやめよ！

現在私たちの県「行革」による賃金削減は以下の通りです。

給料月額の2.3%~2.8%の減額 地域手当の一律2%削減

このうち地域手当については、2015年3月までは国による賃下げとの関係で、元に戻されています。これを再度削減させないことが第一の課題です。

給与減額については、今のところ具体的な復元を提案していません。これの回復時期を明示させるのが第二の課題です。

賃金の独自カットは、ほとんどの都道府県で終了しています。今年度で終了するのは、香川県、徳島県などです。兵庫県はこの賃金カットをいつまで続けるのでしょうか。

政府でさえ民間の賃金を上げるように要請している中、この国の方針と県の独自カットの方針は真っ向から対立するのです。地域経済を活性化させるためにも賃金カットではなく賃上げが必要です。

介助員を解雇するな！

姫路で新設される「姫路しらすぎ特別支援学校」のスクールバス添乗業務の民間委託に伴い、従来既設校での添乗業務を行っていた介助員が、職を失う

という事態が予想されます。県教委は「生首は切りたくないが、全員雇用はむずかしい」との無責任な回答しかしていません。

「行革は解雇を目的とはしていない」という県当局の方針にてらしても長年教育に貢献してきた介助員を、県教委の勝手な都合で解雇することなど許せません。

高教組は、この二つのたたかいを大きく前進させるために全力をあげています。

この私たちの要求が、大多数の教職員の声であることを示すためにも、圧倒的多数の教職員署名を県教委に突きつけましょう。みなさんのご協力をお願いします。



全教職員の署名の力で 県「行革」を終了させよう

県「行革」賃金カット終了、介助員雇用確保

13確定越年3大要求署名にご協力を
最終の集約は2月1日(土)までに